



# Y's Men International

## Japan East Region 2021-2022 理事通信

**主題** “Think for the next generation.” 「私たちは次の世代のために何ができるか？」  
**スローガン** “We are stronger together than we are alone.” 「絆を深める時」

### 理事メッセージ

2021年-2022年東日本区理事  
 大久保知宏（宇都宮）



11月の強調月間テーマはASFアレキサンダー奨学基金です。ASFの具体的な内容については、次頁以降に田中博之ASF国際事業主任、深尾香子地域奉仕・YMCAサービス事業主任の記述をご参照いただき、理解を深め、積極的なご協力をお願いいたします。私からはASFの国内での資金用途の一つであるSTEP IIでの東西日本区理事による講義についてご報告します。

STEP IIは、日本YMCA同盟が主催するYMCAスタッフの研修です。（詳細は後述の日本YMCA同盟の杉野歌子さんのご報告をお読みください）毎年東西日本区理事は各自45分程度のワイズメンズクラブ理解のための講義を行うことになっています。今年度も10月20日19時～20時30分に受講者12名を対象に行いました。私は国際協会が作成した「ワイズメンズクラブへようこそ」という新規入会者向けに作られた資料をベースに、今年度作成されたワイズメンズクラブとYMCAのパートナーシップをまとめた資料（資料名：YMI & YMCA CELEBRATING 100 YEARS OF PARTNERSHIP IN 2022）を追加したものを利用して講義を行いました。このパートナーシップについてまとめられた資料は下記のリンクから是非お読みください



ワイズメンズクラブ国際協会とは

- ・ フェロシシップ
- ・ 友情
- ・ 地域奉仕
- ・ 個人成長
- ・ ネットワーク
- ・ 世界的な影響力
- ・ YMCAとのパートナーシップ



クラブのメンバーであることはこの国際組織の一員であること。

ワイズメンズクラブ国際協会は、共通の利益にも取り組むために、地理的な地域で組織されています。



### iGo (Internships 4 Grobal Outreach)

YMIとYMCAが提供する職場体験の機会を、両組織に所属する18歳から29歳までの若者に提供する新しい共同プログラム

### iDo

iGoの国内版を設計中

<https://drive.google.com/file/d/1DWRQmIj83B8LCJhBgWO69UQkVVyNruTt/view>

## 強調月間「ASF」

ASF 国際事業主任 東日本区行政監事  
田中博之(東京多摩みなみ)



強調月間を機に、ぜひ皆さんが ASF についての理解を深め、また、このプログラムに対しての一層のご協力をお願いしたいと思います。毎年、各地域、各区で集め

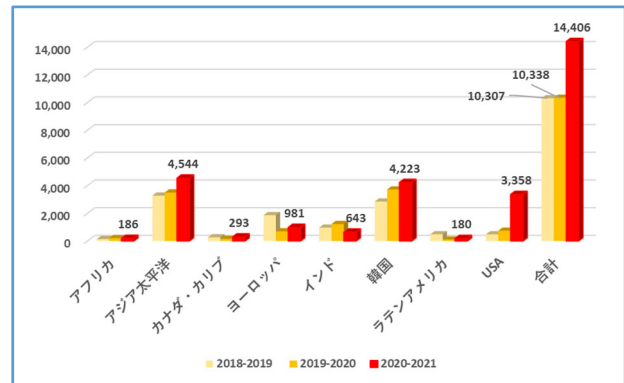
られた ASF 献金は、原則として 70%が、ASF 事業方針に基づく各地での YMCA スタッフのトレーニングやリーダー養成プログラムに用いられます。

残りの 30%が国際 ASF として IHQ に送金され、世界 YMCA 同盟と相談の上、国際的な YMCA のプロジェクトに活用されています。国際憲法に示されている私たちの組織のもっとも大切な目的は、YMCA の支援であり、ASF は、私たちと YMCA の絆を具体的に表す旗艦的なプロジェクトであると言えます。

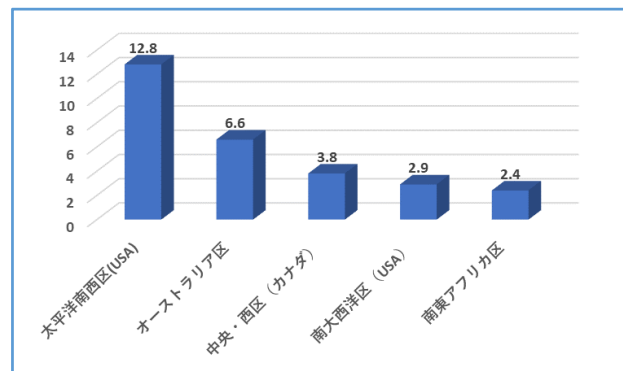
これまで平均して毎年、約 10,000 スイスフランが国際 ASF への献金として捧げられてきましたが、2020-2021 年度は、コロナ禍にも関わらず、14,000 スイスフラン以上の寄付がありました。この場を借りてお礼を申し上げます。地域毎の過去 3 年間の国際 ASF の献金実績は、右上のグラフのとおりです。また、昨年度において、会員ひとりあたりの献金額が多かった区(右下のグラフ)に、感謝の意を表したいと思います。

国際 ASF 献金の使途については、これまで、例えば、世界 YMCA 同盟に対し、チェンジ・エージェントと呼ばれる将来 YMCA を担うことが期待されている若者の成長支援プロジェクトや、YMCA175 周年プログラムの支援を行なってきましたが、今年度は、昨年度に引き続いて、コロナ禍において経済的に困窮している各国の YMCA 同盟を支援する世界 YMCA

同盟の取り組みである YMCA 連帯基金に 10,000 スイスフランの寄付を行いました。今年度は、国際 ASF への献金額を増やす取



り組みとして、また、わくわくしながら取り組みを進めていただくことを目的として、賞品と表彰を導入することにいたしました。賞品としては、各区に国際 ASF 献金額 50 スイスフラン毎にチケット(くじ)が発行され、年度末に抽選で賞金が与えられます。また、ひとりあたりの国際 ASF の献金額が多かった地域と区に対しての表彰も行われます。昨年度を上回る皆さんのご協力に期待しています。

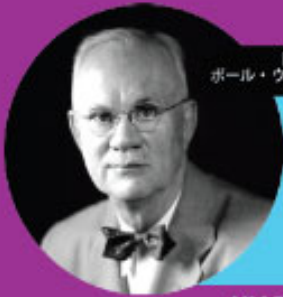


(国際会長ニュース 11 月号から転載)

# ASF・アレキサンダー奨学基金



## 11月の強調月間テーマ



国際協会創設者  
ポール・ウィリアム・アレキサンダー

ワイズメンズクラブの重要な目的は、パートナーであるYMCAの活動とミッションを支援することです。

1954年以来、ワイズメンズクラブ国際協会のアレキサンダー奨学基金は、世界中のYMCAのリーダーシップを開発するために資金を提供してきました。



YMCA連帯基金は、現在、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに苦しむ31の国のYMCAに必要な支援を行っています。

皆様のご好意により、ワイズメンズクラブ国際協会は、この重要な活動に20,000スイスフランを寄付することができました。

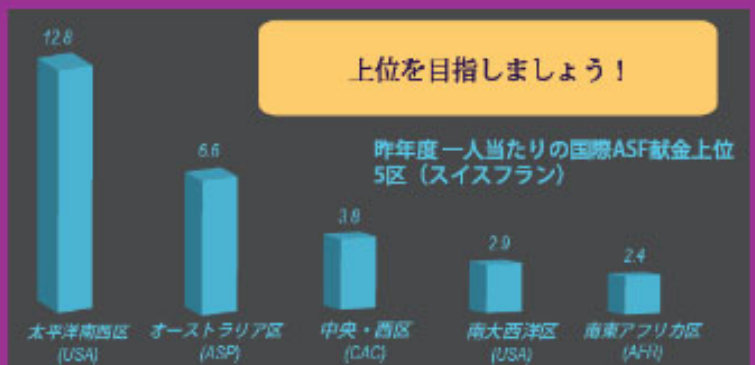


### 2021/22 献金推進策 ラッフルくじ

50スイスフランの国際ASFへの献金ごとに区にくじを1枚発行

- ・1等 500スイスフラン (1枚)
- ・2等 200スイスフラン (100枚に1枚当り)
- ・3等 100スイスフラン (50枚に1枚当り)

他に、1人当りの献金額上位の地域、区を表彰



### 「ASF 献金へのご協力のお願い」

地域奉仕・YMCA サービス事業主任  
深尾香子 (東京多摩みなみ)



ワイズ入会から日の浅い方々を特に意識して、お伝えします。表題の献金は、毎年2/15を締切日とした通年の取り組みで、11月は強調月間としてその意味を皆で考え、夫々が

出来る範囲で献金額を決めご送金頂くものです。クラブから各部を通して、東日本区へ集約され、国内外のYMCAスタッフやユースリーダーの研修のために使われています。ASFの献金目標は会員ひとりあたり500円以上ですが、昨年に続き新型コロナウイルスの蔓延によって世界の多くのYMCAの事業、プログラムがストップしているため、財政難に直面し、閉鎖やスタッフの解雇等の危機にさらされているYMCAも多数あります。会員数が減っていて、また年金生活者が多く

なっているところに、感染症対策で打撃も受けていて恐縮ですが、グローバルな視点のもと、ASF献金への一層のご協力をお願いいたします。

昨年度実績は以下の通り。【1】2020年9月19日(土)～21日(月・祝)「第51回全国YMCAリーダー研修会」於、六甲山YMCA。58名(内オンライン参加35名) ¥200,000- 【2】2020年11月7日(土)「キャンプ100記念シンポジウム2020」(3年シリーズの3年目) ライブ配信(大阪YMCAより) 399名参加。¥200,000- 【3】2021年2月5日(金)「日本YMCA大会: youth night」日本YMCA同盟によるライブ配信&Zoom。チャンネル登録323人。¥150,000- 【4】2021年2月23日(火)「2020年度第21回日本YMCA大会」日本YMCA同盟によるライブ配信&Zoom チャンネル登録323人。¥300,000- 【5】「2020年度学生YMCA冬期ゼミナール(含む日韓学生交流)」オンラインで開催。23大学の学生YMCAから36名150,000円。また、一部はコミュニティ・サービス(CS) 献金と合わせてその10%をワイズメ



ンズクラブ国際協会本部に国際 ASF 献金として送金し、世界 YMCA 同盟のチェンジ・エージェン ト研修費用支援、YMCA 連帯基金への寄付等に用 いられています。当委員会のアピール、告知不足 であった事は反省点です。また ZOOM 参加がで きない事情の方々が少なからずいらっしゃる事 も忘れてはならない点です。次年度以降の課題で す。

## 日本 YMCA スタッフ研修ステップⅡ

日本 YMCA 同盟  
杉野歌子



9月30日(木)より2021年度日本YMCAスタッフ研修ステップⅡが開講し、全国9YMCAより12名が参加しています。この研修は、日本のYMCA運動の中心的な担い手とし、ポジティブネットのある豊かな社会創りを推進していく立場であることを自覚し、YMCA ミッションの遂行能力を身につけ、目まぐるしく変化している社会の状況をしっかりと読み取り、YMCA の新しい可能性を生み出せるスタッフを育成することを目的としています。新型コロナウイルス感染症が収束しない中での開催となり、昨年度に引き続き、集合型とオンライン型の受講スタイルを組み合わせ実施しています。

2021年度は研修のテーマを「社会の回復に応えるYMCAをめざしてレジリエンス・リカバリー・リイマジネーション」とし、with コロナにおいて、そしてアフターコロナの社会で、目の前の

YMCAの事業や活動の継続だけでなく、地域社会が直面する課題と向き合い、どのように私たちの使命を果たしていくのか。社会の回復に対応するYMCAの在り方を考え、実行に移すための力をつけることに重点をおいています。業務を遂行するために基礎となる知識、理論、方法、技能を習得するとともに、YMCAのブランディングやキリスト教理解、社会イノベーションの実践者からの学びやコミュニケーション能力の開発、リーダーシップ開発、Positive well-beingの実践など、トータルな自己開発を行います。

研修生活の1日は、毎朝礼拝を守り、仲間のメッセージに耳を傾けて神様の恵みを感じることから始まります。講義では専門性の高い講師からの学びはもちろんのこと、講師の人柄に触れ、研究生への期待が込められた熱いメッセージを受け取り、研究生一人ひとりがこれまでの歩みや働きを振り返る時間にもなっています。講義では毎年、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区/西日本区の両理事にも講師としてのご協力を賜っており、今年度は大久保理事にご登壇いただき、ワイズ理解を深め、ワイズメンズクラブとYMCAのパートナーシップをより強めYMCA運動を推進することを研究生は自覚する機会となりました。この場をお借りし、多くのご協力とお支えに感謝申し上げます。

研修も早いもので後半に入っております。講義や他団体訪問で学んだことをさらに深めながら、各自が設定したテーマと結びつけて修了レポートを執筆し、成果としてまとめます。研究生の研修生活が最後まで豊かに送れるよう、お祈りに加えていただければ幸いです。

## 東日本区からのお知らせ

2020-2021 年度国際協会表彰が発表されました。

### エルマー・クロウ賞

あずさ部部長 御園生好子さん

### チャレンジ22賞 (会員増強)

あずさ部 甲府21クラブ

### チャレンジ22賞 (新クラブスポンサー)

関東東部 千葉クラブ

### ブースタークラブ賞 (入会6人以上)

あずさ部 甲府21クラブ

### ブースターメンバー賞 (入会3人以上)

甲府21クラブ 宮岡宏実さん  
千葉ウエストクラブ 高田一彦さん

### 地域奉仕賞

あずさ部 富士五湖クラブ  
富士五湖クラブの優れたプロジェクトに、「社会奉仕賞認定証」が発行されました。

### 区パフォーマンス賞 (銅賞)

東京武蔵野多摩クラブ  
板村哲也さん (東日本区直前理事)

- ① クラブ会員総数 (2月~2月)
  - ② クラブ総数 (7月~6月)
  - ③ プログラム貢献 (7月~6月)
- の内、1つ達成が銅賞

入会者一覧

	入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
10月	2021年10月14日	湘南・沖縄部	横浜つるみ	横山裕二	久保勝昭

JEF献金

	献金日	部	クラブ	献金者	金額
10月	2021年10月23日	東新部	東京多摩みなみ	伊藤幾夫	20,000

ミャンマー募金 (参考報告)

	募金日	部	クラブ	募金者	金額
10月	2021年9月16日	あずさ部	東京サンライズ	東京サンライズ	15,000
	2021年10月13日	富士山部	沼津	沼津	15,000
	2021年10月14日	東新部	東京多摩みなみ	東京多摩みなみ	10,000
	2021年10月22日	富士山部	沼津	小林 隆	10,000
	2021年10月27日	京都部	京都ウエスト	森田恵三	10,000
	2021年10月29日	北東部	那須	那須	5,000
					65,000

### 11月の主な予定

6日 第2回東日本区役員会 (Zoom)

10日 ワイズデー

14日 Y's Night Forum - 第三夜 -

私たちがワイズメンズクラブは、設立して100年となる国際的なボランティア団体です。各地のYMCAを支援すること、地域社会に貢献すること、国際的なボランティア活動を行うことなど各目的として活動しています。現在のコロナ禍の中、社会ではソーシャル・ディスタンスが求められ、人々との距離的な距離が広がり、感情的な距離も開けられようとしています。このフォーラムは、地域の時間を待つことで、新しい交流のきっかけとなればと考え企画しました。第一夜では、最近で卒業になるようなチームで多様な表彰による表彰を行います。第二夜では私たちがワイズメンズクラブの専任活動家/ナレッジカッションの形でご紹介いたします。開催を日曜日の夜8時としました。大塚ドラマの裏番組となりますが、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

第1回	第2回	第3回
9月19日(日) 20:00~22:00	10月24日(日) 20:00~22:00	11月21日(日) 20:00~22:00
会務部: 藤田 智志 専任活動家: 藤田 智志	会務部: 杉野川 悠子	会務部: 西村 隆夫
出演: NHK 連続ドラマ「やさいの時間」 日テレ「世界一受けたい授業」他	「TOKYOオリンピック」 ボランティアとして参加して	「国際連合としてタイでの生活と オリンピックボランティアの経験」

見てみよう!  
参加してみよう!  
当日の参加もできます!  
参加アドレス・ミーティングID・パスワード・参加申込QRは3開催とも共通です  
ワイズ紹介QR

### YMCA 報告

日本 YMCA 同盟協力主事/担当主事  
光永尚生(三島)



世界のYMCAのトピックス

■メンタルヘルスと well-being  
(Youth Led Solution Summit シリーズ)

3回目となる The Youth-Led Solutions は、メンタルヘルス&ウェルビーイングをテーマに世界メンタルヘルスデーである10月10日に開催。2つのウェルビーイングイニシアチブ(マニフェスト My Wellbeing デジタルプラットフォーム)発表が行われた。

■ミャンマー: ボランティアとコミュニティのための社会的支援とトレーニングによる能力開発  
課題に直面し、将来への希望を失っているミャンマーの若者たちは、コロナ禍で学校に通えなくなるなど教育の機会損失も課題。ミャンマーのミッチャーナーYMCAでは、

Zoomによるバーチャル・ラーニング・プログラムを実施。知識を高めることと同時にモチベーションを高め、精神的に落ち込む若者の心理社会的カウンセリングを支援

日本のYMCAのトピックス

■東京YMCA ユースの居場所を守るチャリティーコンサートを開催

コロナの影響を大きく受け、弱くされている若者の居場所を守るために、東京YMCA高等学院を支えるためのチャリティーコンサートを10月15日に開催。第2部では学院の生徒たちと一緒に演奏。コンサートは後日ネット配信あり

■広島YMCA ユースが考える「平和とは何か」

第1回広島YMCAユース平和ミーティングが10月23日に開催。全国のYMCAに集うメンバーや学生・ユースリーダー（高校生・専門生・大学生）・ユーススタッフ参加。

■全国YMCA-YWCA合同祈祷礼拝

2021年度YMCA/YWCA合同祈祷週は、11月7日（日）～13日（土）。テーマは「Beauty from Brokenness:こわれたものからの美しさ」。日本各地のYMCA・YWCAでオンラインを用いた祈祷集会が行われる。

■「新しい生活の中での、こどものための教育保育のあり方」とは

全国YMCAの幼児教育・保育事業では、「新しい生活の中での、こどものための教育保育のあり方～こどもの成長のために必要なこと、具体的な保育の在り方～」をテーマに10月25日に研修会を開催。講師は常磐会短期大学のト田真一郎教授。

■国際ガールズデー スポーツから疎遠になりがちな女の子たちが、無理なく楽しむために

日本YMCA同盟が主催しスポーツを通して女の子たちの成長を応援するGirl's Programme。ナイキ、ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団と大坂なおみ選手が連携し、女の子のスポーツ参加を促し、均等な機会が提供される環境を創り出すことを目的とする「プレー・アカデミー with 大坂なおみ」の事業の一環として、女の子たちのスポーツを核とした9人の成長ストーリー動画を公開。

■アフガニスタンの赤十字で学生YMCAのOGが活躍 学生YMCAのインドスタディキャンプ2001年に参加した藪崎拡子さんが、現在アフガニスタンの赤十字にて活動

を続ける。学生時代、看護学生時代から続く働きを見守り、祈りたい。

日本YMCA同盟からのお知らせ

■10月研究所オンライン研修「世界のYMCAの働きーオーストラリアYMCAとオンラインでつながり、学ぶ」世界YMCAが進めるWorld YMCA Vision2030。策定メンバーであるオーストラリアYMCAのDian Sheltonさん、日本のYMCAでも取り組みが求められるダイバーシティ&インクルージョンの推進を米国フロストバレーYMCAで経験してきた東京YMCAの池田麻梨子さんによるセッション開催。

■富士山と地域と共に106年、宿泊研修施設「東山荘」御殿場の地域誌による東山荘の紹介。長い年月をかけて建物と自然が調和した一つひとつの景観が美しく掲載され、改めてその歴史や功績を知る機会に。年末に向けて「第56回年末年始家族パーティー」も案内を開始。年末年始は東山荘へ。

■未来の森づくり 東山荘ナラ枯れ募金

ナラ枯れ募金第二期には約116万円が寄せられ、第一期と合わせた募金総額は約356万円にのぼる。伝染病であるナラ枯れは今年も依然として広域で猛威をふるい、東山荘でも冬に向けて伐採の準備が進む。東山荘の森林再生、未来の森づくりのため、引き続き募金へご協力を。

■ポジティブネットYMCA国際協力募金 ミャンマー緊急支援報告

ミャンマー支援のための募金は、全国のYMCAを通して717,052円が寄せられた。ミャンマーYMCAはYMCAが提供するプログラムを市民がこれまで以上に必要としているとして、困難な状況にありながら人々に寄り添い、さまざま活動を続けている。

■YMCAカレンダー2022 販売のお知らせ(注文終了)

■阿部志郎さん、岡本栄一さん、上野谷加代子のてい談「ボランティア全国フォーラム2021」

コロナ禍のもと、厳しい時代のなかにあるボランティア・市民活動をどのように進めていけばよいかを、わが国のボランティア・市民活動を牽引してきた阿部志郎さん、岡本栄一さん、上野谷加代子さんを迎えてのオンラインてい談をはじめ開催。